

健康福祉サービス第三者評価結果 公表 共通様式

1 事業者情報

福祉サービスの種別	障害福祉サービス
事業所名	ハーモニー
代表者氏名（管理者）	施設長 提中 美穂
法人名	社会福祉法人 虹の会
定員（利用人数）	20名
施設・事業所所在地	滋賀県高島市新旭町藁園2607番地
T E L	0740-25-3500
F A X	0740-25-3001
電子メール	harmony@shiganijinokai.net
ホームページアドレス	shiganijinokai.net

2 第三者評価機関

第三者評価機関名	公益社団法人 滋賀県社会福祉士会
評価実施期間	2023年（令和5年）9月4・7日

3 評価の概要

○ 総合評価

ハーモニーは平成26年4月に社会福祉法人虹の会の5番目の事業所として開設されました。高島市を中心に障がいのある人に生活介護を提供しています。利用者の意思表示・意思決定のサインを見逃さず、あらゆる工夫をし、安心して過ごせる施設を目指しています。ハーモニーでは「一人ひとりの個性と人格を尊重し、自分らしくより豊かな生活が送れるよう様々な活動に取り組みます」を理念とし、これをモットーに日々活動が行われています。ハーモニーでは創作活動をはじめ多彩な活動メニューが用意され、利用者一人ひとりの個性に合わせて活動を行い楽しく一日を過ごせるよう支援しています。施設内に展示されている陶芸や手芸の作品を見ると、とても独創的な形や色使いに目を奪われます。施設外のギャラリーで行われる作品展でも見学者から好評を得ています。人には無限の可能性があり、少しのきっかけで開花することを改めて感じます。ハーモニーでは個性を伸ばし可能性を引き出し、豊かな人生を送れるよう支援が行われていることがよく伝わってきます。

ハーモニーでの職員と利用者の関係は、支援する側とされる側という一方通行の関係ではなく、職員と利用者がお互いに影響を与えあう双方向の関係にあります。職員もまた利用者からいろいろな刺激や影響を受け、ハーモニーという職場を通じて人として成長を続けています。

昨今どのように働くかといった働き方に多くの関心が集まる中、職員一人ひとりは何のために働くのかを問い、自身のミッション、ハーモニーのミッション、虹の会のミッションをよく理解したうえで行動し、法人の理念である「共に生きる」を体現しています。ハーモニーの利用者と職員の関係は程よく調和がとれており、まさに「ハーモニー」と呼ぶにふさわしいところです。

○ 特に評価の高い点

(1) 真摯な自己評価への取り組み

ハーモニーでは所定の手順に基づいて毎年7～8名の職員が交代で事業所の自己評価を行い、結果は県へも報告されています。自己評価に取り組むことにより利用者への直接的な支援だけでなく、事業所全体を俯瞰できています。結果としてサービスの改善や、質の向上への取り組みに気づきを得ることに繋がっています。毎年の取り組みは蓄積されハーモニーの財産として利用者により良い支援に活かされています。

(2) 切れ目のない支援の実現

ハーモニーは法人内の相談支援事業所や外部の諸機関と連携し、計画相談の段階から利用者に関わっています。施設内にとどまらず利用者の生活全体に目を向けることで、より細やかな支援

に繋がっています。また個別支援計画は、日々の利用者との関りから職員が思いをとらえ利用者のニーズが実現できるよう作成されています。その上で利用者がいろいろな事を体験し、経験を積み重ねる機会を提供し、自己決定を行う際の選択肢が増えるように計画されています。

(3) 魅力あふれる多彩な活動

ハーモニーでは利用者が自分らしくより豊かな生活が送れるよう、創作、音楽、運動、健康、美化、園芸といった多彩な活動プログラムが用意されています。芸術活動では専門の講師を招き利用者の個性を伸ばす充実した内容になっています。講師もハーモニーの理念や活動に理解があり、好意的に利用者に関わっています。職員は活動の成果より利用者が活動を通じ、体験し経験を重ねることを重視しています。そのため決められたプログラムにこだわらず、利用者がより良い活動が出来るよう状況を見ながら臨機応変に対応しています。またプログラム以外にも健康器具の設置や利用者がひとりで過ごせる居場所の提供等、環境面においても利用者が個々に活動できるように努めています。職員は前例にとらわれ過ぎず、失敗を恐れず支援に取り組んでいます。色々なことを体験し経験を重ねることは、利用者がより楽しい生活、より豊かな人生を送ることに繋がっています。

(4) 利用者、職員から選ばれる施設

利用者は複数の施設を見学したうえでハーモニーの利用を決めています。評価機関が行ったアンケートにも、保護者から「本人は喜んで通っている」等、感謝の声が多数寄せられています。それと同時に障がいを持つ子の親から、親亡き後の子どもの将来を切に託されています。

職員は福祉の仕事に興味を持ち、さらに働く場所として虹の会を選んでいきます。年齢や経験に関わらず提案や思いを伝えやすい環境があります。また厳しさの中にも温かみのある指導が行われ、人材の育成に繋がっています。ハーモニーは人間関係が良好で、ワークライフバランスが取れる働きやすい職場として職員からも選ばれています。

○ 改善を求められる点

(1) 質の高い個別ケアの向上に向けたマニュアルの改定

個々の利用者の支援に重点を置かれていることから個人手順書を準備されている点や、必要に応じて業務マニュアルを準備されている点は評価できます。しかし、個人手順書とマニュアルが混同されている状況が見受けられました。そのため、今後は、支援や運営の基本となるマニュアルを整備したうえで、そのマニュアル内容を活かした個人手順書を作成して頂ければと考えます。

(2) 地域とのより良い関係の構築に向けて

地域とどのように関わるかを模索されている状況が続いているように見受けられました。事業所と地域住民がどのように関わっていくか悩ましいと考えますが、反対に、事業所周辺には、同法人の事業所や、社会福祉協議会、特別養護老人ホーム等の社会資源が集まっている強みもあります。そのため、地域と関りを作るうえで、まずは、地域の社会資源間で交流を持っていただき、お互いの社会資源がどのように地域住民と関りを持っておられるのか確認することから始めて頂ければと考えます。

4 第三者評価結果に対する事業者のコメント

これまでご利用者・ご家族からアンケートを通じての評価はあったものの第三者からの評価は初めて受けました。高く評価をくださった内容については自信をもって取り組んでいくとともに、今に満足するのではなく向上心を持ち、より質の高い支援を実施していきたいと思えます。また改善点に関しては現状の弱さを的確にご指摘いただきました。マニュアルについては「木」ばかりを見て「森」が見れていなかったと気づかされました。しっかりと枠組みを構築していけるよう検討します。また地域へ向けての関係づくりについては、ご助言いただいた通りまずは近場にある福祉施設等、関係機関とのつながりを密に取れるよう行動していきたいと思えます。

今回、丁寧な聞き取りをしていただいたうえ、具体的な改善方法も含めてご指導いただきました。ハーモニー発展のため、しっかりと受け止め、実践してまいります。

5 評価項目毎の評価結果

(別 添)